

〔国際会議開催〕

申請者	岡山大学 学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 准教授 堺 健司	2225006
国際会議名称	東アジア超伝導エレクトロニクスシンポジウム（EASSE）2023	
開催期間	2023 年 3 月 27 日から 3 月 29 日（3 日間）	
開催場所	岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）	
申請者の役割	会計幹事	

概要：

東アジア超伝導エレクトロニクスシンポジウム（EASSE）は、超伝導エレクトロニクスの研究に従事する東アジア地域からの多数の研究者と欧米からの研究者が一堂に会し、最新の研究成果について発表や議論を行い、超伝導エレクトロニクス技術の発展をさらに加速させることを目的としている。

超伝導エレクトロニクス技術は、既存のエレクトロニクス技術と比較して、高速、高感度、低ノイズ、低消費電力など多くの利点があり、超高速通信、超高速計算機、超高感度磁気計測など、これまでの技術では実現不可能でありながら社会から強く求められる技術を実現できる。このように将来有望な超伝導エレクトロニクス分野への発展に大きく寄与する本会議は、学術的意義と同時に社会的意義も非常に大きい。

本会議の口頭発表では、発表時間を十分に確保したことで、最新の研究成果を十分に議論し、研究内容の理解や研究者同士の交流を深めることができた。また、ポスター発表でも発表時間を十分に確保したことで、学生などの若手研究者と第一線で活躍する研究者が研究成果について活発な議論を行うことができ、将来を担う若手研究者の育成にも貢献できた。さらに、2 日目にはバンケット、3 日目にはテクニカルツアーも実施し、特にバンケットは会議参加者の 9 割以上が参加し、研究者同士の親睦を深めることができ、国際的な研究の連携など、今後の更なる研究の発展も期待できる成果が得られた。

以上のように、本会議の実施により超伝導エレクトロニクスの最新の研究成果を共有するとともに、関連する研究者同士の強い結びつきを築けたことは、今回の国際会議の大きな成果と言える。